財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

定額法による方法を採用している。

(2) 引当金の計上基準

(ⅰ) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率による計算額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

(ⅱ) 退職給付引当金

職員に対する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において発生している額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政運営資金積立資産	34,000,000	0	0	34,000,000
退職給付引当資産	11,819,943	607,470	0	12,427,413
シルバー会館等修繕積立資産	6,000,000	0	0	6,000,000
合　　計	51,819,943	607,470	0	52,427,413

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科　　目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
財政運営資金積立資産	34,000,000	(0)	(34,000,000)	(0)
退職給付引当資産	12,427,413	(0)	(0)	(12,427,413)
シルバー会館等修繕積立資産	6,000,000	(0)	(6,000,000)	(0)
合　　計	52,427,413	(0)	(40,000,000)	(12,427,413)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

科　　目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	507,600	428,288	79,312
構築物	976,493	747,068	229,425
什器備品	2,504,378	2,277,700	226,678
合　　計	3,988,471	3,453,056	535,415

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
連合交付金 (国庫補助金)	厚生労働省	－	33,329,000	33,329,000	－	－
運営費補助事業	(補助事業者) (公社)福岡県シルバー人材センター連合会	－	7,329,000	7,329,000	－	－
高齢者活用・現役世代雇用サポート事業		－	26,000,000	26,000,000	－	－
久留米市補助金	久留米市	－	33,329,000	33,329,000	－	－
合　　計		－	66,658,000	66,658,000	－	